

市長から市民のみなさんへ

去る4月4日、無投票にて再選が決まり、4月24日から2期目がスタートしました。これから4年間、引き続き市民のみなさまと一緒にまちづくりを進めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

さて1期目を振り返りますと、12か年の第二次総合計画を策定し、将来都市像「活力と笑顔あふれるまち スマイルシティ山陽小野田」の実現に向け、平成30年度から令和3年度までの4年間の前期基本計画をスタートさせました。新たにシティセールス課を設置し、スマイルロゴマークやイメージカラー「オレンジ」を中心に効果的な情報発信に努めてきました。平成30年4月には山口東京理科大学に待望の薬学部が新設され、本市発展の大きな推進力となっています。また、学校給食センター、新斎場、埴生小中一貫校など、合併特例債を有効活用した施設も供用開始となりました。更に、子ども達の学習環境改善の一環として、全小中学校にエアコンを設置し、児童生徒に1人1台端末を整備するGIGAスクール構想もスタートしています。併せて、スマイルキッズの開設や子ども医療費助成を拡充し、子育て世代にも住みやすいまちづくりを進めています。

現在2期目をスタートするに当たって、まずはコロナ対策が喫緊の課題です。市民のみなさまの大切な命・生活と地域経済を守るために必要な施策をしっかりと講じていきます。最初にワクチン接種が速やかに、かつ安全に行われるよう、医療従事者のみなさまの多大なるご協力を頂きながら、まずはご高齢の方から優先接種を始めます。市の広報紙やホームページ等の情報をご確認いただき、多くの市民のみなさまに接種をお願いしたいと思います。次にこの1年間の施策の中で特に効果があったスマイルチケットの第2段を早急に市議会に提案し、実施したいと考えています。

ワクチンの効果に期待しつつ、いつかはやって来るアフターコロナの時代に、どのようにまちづくり

を進めていくかが、私の2期目の最大の課題です。この3月に「協創によるまちづくり」推進指針を策定しましたが、その取組を具現化するため5月1日には「地域運営組織推進室」を立ち上げ、協創のパートナーである市民・企業・団体等のみなさまと力を合わせながら、「地域を創る」「ひとを創る」「まちの価値を創る」を柱に「持続可能な地域社会」を創ってまいります。そして「スマイルシティ山陽小野田」が「いいね」と実感していただけるよう、市職員と一丸となって諸施策を展開していきます。

4月1日、新たに「デジタル推進室」を設置しました。見える・見えないは別にして、デジタルの力は我々の生活を豊かにしてくれます。現在検討中の商工センターの建替えについては、全国でもまだ実績のないLABVという手法を活用した官民連携事業にチャレンジします。また4月から「おのだサッカー交流公園」が県から市に移管されました。レノファ山口の練習拠点であり、本市の特色ある資源でもあるガラスやかるたなども含め、スポーツや文化が我々の暮らしをより豊かにしてくれるよう、関係機関と連携を図りながらまちづくりを進めてまいります。

これからの4年間が大変重要であり、努力次第では大きな成果を上げることが可能だと認識しております。市民憲章のみんなのちかいである「自ら考え・汗を流し・このまちを愛します」をしっかりと胸に刻み、市民のみなさまと共に、活力と笑顔あふれるまち～スマイルシティ山陽小野田～を創っていきたいと思いますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

